

平成24年3月期の連結ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

	平成23年度 (平成24年3月31日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	2,833,566
資本金等	509,996
価格変動準備金	65,165
危険準備金	-
異常危険準備金	851,808
一般貸倒引当金	2,370
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	1,125,028
土地の含み損益	163,630
保険料積立金等余剰部分	-
負債性資本調達手段等	-
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-
少額短期保険業者に係るマージン総額	-
控除項目	75,515
その他	191,081
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	886,562
損害保険契約の一般保険リスク(R <sub>1</sub> )	187,463
生命保険契約の保険リスク(R <sub>2</sub> )	4,609
第三分野保険の保険リスク(R <sub>3</sub> )	-
少額短期保険業者の保険リスク(R <sub>4</sub> )	-
予定利率リスク(R <sub>5</sub> )	28,778
生命保険契約の最低保証リスク(R <sub>6</sub> )	-
資産運用リスク(R <sub>7</sub> )	520,985
経営管理リスク(R <sub>8</sub> )	20,822
損害保険契約の巨大災害リスク(R <sub>9</sub> )	284,875
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/((B)×1/2)]×100	639.2%

(注)「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条の2および第88条ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

以上